

夏休み…今がチャンス！卒論・修論の文献集め！

夏休みの醍醐味は 文献収集！

7月は卒論・修論執筆応援
キャンペーンを開催！

あなたの夏の研究生生活がさらに
充実するよう、応援します！！



卒論・修論を
書き始めるためのガイドブック

テーマを決めて、文献を探そう！



特集

卒論・修論執筆応援号

発行：京都大学 吉田南総合図書館 (愛称：逍遙館)

〒606-8501

京都市左京区吉田二本松町

Tel : 075 (753) 6524, 6525

Fax : 075 (753) 6896

Email : eturan61@mail.adm.kyoto-u.ac.jp

HP : <http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/yoshidasouthlib/>

Twitter : @yoshidasouthlib

夏季特別貸出はじめます

特別貸出期間中はいつもより長く本を借りることができます。論文執筆中の方には文献収集の絶好のチャンス！論文執筆はまだ先…という方も、論文のテーマを決めるためには、早いうちから様々な学問分野に触れ、知見をひろめておくことが肝心です。この機会を是非ご利用ください！

■実施期間

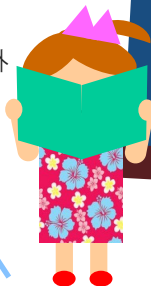
学部生：7月23日(木)～9月19日(土)
 院生/教職員：7月23日(木)～9月7日(月)
 ＊8月9日(日)～20日(水)は夏季休館です。

■返却期限日 2015年10月8日(木)

＊夏季特別貸出の図書は更新できません。

■冊数(平常通り)

学部生：開架 5冊 書庫 10冊
 院生：開架10冊 書庫 30冊
 教職員：開架10冊 書庫 対象外



グレート・ブックス読書会『純粋理性批判』はグレートブックか？

(コーディネーター・渡邊さんよりひとこと)

「グレートブックスとして『純粋理性批判』を読む」とはいったいどういうことなのでしょう。21世紀日本のわれわれにとってそれがどういう意味を持ち得るのか、当の書物を読みながら一緒に考えてみたいと思います。」

日時：平成27年7月7日(火) 18:00～19:30

場所：環on(人間・環境学研究科棟1階東側)

書名：『純粋理性批判』上・下(1F 和書 134.2||J8)

※本をお持ちいただく必要はありません。

申込方法：事前予約優先(当日参加も可)です。

件名を「カント読書会」とし、お名前、ご所属を明記のうえ

eturan61@mail.adm.kyoto-u.ac.jp

宛にメールでお申し込みください。多数の参加をお待ちしています。

第7回グレート・ブックス読書会

『純粋理性批判』はグレートブックか？

日時：2015年7月7日(火) 18:00-19:30

場所：環on(人間・環境学研究科棟1階東側)

コーディネーター：渡邊浩一さん<博士(社会・環境学)>

主催：「環境情報学」イニシアチブ・カント書
 会(主催)上・下 渡邊浩一 2014
 21世紀 18世紀
 本を手に取りたい必要はありません

高橋さんよりひとこと
 『カント・イニシアチブ』と『環境情報学』イニシアチブが共同主催する読書会「環境情報学」イニシアチブが主催する読書会を開催します。21世紀日本のわれわれにとってそれがどういう意味を持ち得るのか、当の書物を読みながら一緒に考えてみたいと思います。申し込み、予約優先です。当日参加も可です。件名を「カント読書会」とし、お名前、ご所属を明記のうえ eturan61@mail.adm.kyoto-u.ac.jp宛にメールでお申し込みください。多数の参加をお待ちしています。

申込方法：事前予約優先(当日参加も可)です。件名を「カント読書会」とし、お名前、ご所属を明記のうえ eturan61@mail.adm.kyoto-u.ac.jp宛にメールでお申し込みください。多数の参加をお待ちしています。

協賛：京都府立総合環境学研究所・読書会
 主催：環境情報学イニシアチブ・カント書会(主催)上・下 渡邊浩一 2014



卒論・修論執筆応援キャンペーンを開催します！

2015

卒論・修論執筆 応援キャンペーン

2015.7.1(水)～8.5(水)
平日9:00-17:00

迷える
あなたを
サポート!



<展示> 卒論・修論書き方本

<参考> 先輩の体験談

<相談> 先行研究の探し方・集め方

◆ <講座> ILL 15分講習会 ◆

「図書館員のワザを伝授！15分でわかる

『京大にない資料』の手に入れ方」

7月6日(月)～10日(金) 16:30～16:45

会場：調査・相談カウンター前

「欲しい資料が京大に無いみたい。どうすればいいんだろう…？」そんなあなたももう迷わない！「京大にない資料の手に入れ方」、15分で伝授します。

<予約優先> 件名を「ILL講習会」とし、氏名・所属・回生・学籍番号、受講希望日を記載したメールを eturan61@mail.adm.kyoto-u.ac.jp まで！

◆ <講座> 文献整理講習会 ◆

「15分で学ぶ！文献リスト作成術」

7月13日(月)～17日(金) 16:30～16:45

会場：調査・相談カウンター前

論文では先行研究を引用して、最後に参考文献リストを載せなければなりません。けっこう面倒なこの作業、省力化できる便利なツールがあります。ウェブで使える文献管理ツールRefWorksの使い方をご紹介します。

<予約優先> 件名を「文献整理講習会」とし、氏名・所属・回生・学籍番号、受講希望日を記載したメールを eturan61@mail.adm.kyoto-u.ac.jp まで！



月号は「卒論・修論執筆応援号」。修士論文を提出されたおふたりの院生さんに、「執筆時の様子」や「苦労したこと」など、「論文を書くときの心得」を伺いました。ぜひ参考してみてください！

S・Mさん

人間・環境学研究所修士2回生[M2]
(2015年3月時点)

研究テーマ：言語表現の容認性に関わる要素の解明

一論文提出直前の様子はどうでしたか？

割と時間に余裕を持って計画的にできました。構成を考えたから書いたので、最後のほうは手を動かすだけだったので、追われる感じもなく完成させられたと思います。

一論文執筆の経過を教えてください

書き出したのが12月上旬だったのですが、これはあくまで「文字を入れ始めた」という意味です。僕が特殊なのかもしれないですが、最初にメインセクション、サブセクション、サブサブセクションと考えて、きっちり構成を練って主張の内容まで決めていくので、書き始める時はほとんど手を動かすのみになります。だから、書き出すのは、人より遅いかもしれません。論文執筆のために動き出したのはM2の10月はじめくらいです。僕の場合は、論文作成にあたって、統計を使おうと思っていたんですが、知識がなかったので勉強から始めました。勉強と同時進行で、心理実験（アンケート）の構成を練って、10月上旬に実験をし、実験の結果をもとに統計の分析を11月末までやりました。

僕にとっては、構成を練るといのが、普通の人の執筆にはあっていくくらいなのかも。9月末の時点で修論のビジョンはできていたんですが、これくらいなら間に合うと思います。一般的な理想は夏休み終わりまでに構成終わらせて10月から着手という感じでしょうか。

一イメージ通りの修論が書けましたか？

はい、どういった先行研究を挙げ、どういった実験をして、どういった主張を出せばいいのか明確にし、**構成と論述の流れをはっきりさせることができたので**、ほぼイメージ通りに書けました。(ノ)



K・Sさん

文学研究科・西洋近世哲学史専修3回生[M3]
(2015年3月時点)

研究テーマ：『ブルーノ』の美学思想-「真と美の統一」を中心に

一論文提出直前の様子はどうでしたか？

焦ってました。1月6日が提出日だったので、年末年始返上で書いていました。時間が全く足りませんでした。でも徹夜はせず、規則正しく生きていました(笑)。

一論文執筆の経過を教えてください

M1の時は修論のテーマを決めるため、基本的な文献と、自分の研究分野の周辺(近世全体のものや先生に勧められたもの)の文献を読んでいました。自分のテーマの文献だけを読んでいても、幅がせまくなるからです。同時に外国語の文献を読むために語学の勉強もしていました。M2の夏にサーベイ論文（先行研究をまとめたもの）を研究室の紀要に投稿しましたが、この論文の中で取り扱ったシェリングの著作『対話篇：ブルーノ』が修論のテーマに大きく関わることになりました。シェリングがこの本を何故書いたのか、そもそもどういった内容なのかに対する疑問が出てきて、誰も十分に解明できていないことがわかり、これについて修論を書くことに決めました。その後9月～翌4月まで『ブルーノ』に関する周辺資料を集めました。

M3の4月に構想発表をしましたが、そこで先輩後輩先生方からたくさん指摘を受け、ここから本腰を入れて勉強するようになりました。10月に中間発表があり、論文のタイトルを決定して概略を発表しました。論文は11月から執筆を始めましたが、論の構成が一番重要なので、章立てに最後まで苦労しました。各章の内容自体は12月半ばにはできていたんですが、章と章を繋ぐことが難しく、時間が全然足りなかったです。3年も時間をかけたのに、足りない時は足りないんですね(笑)。提出直前まで修正を続けましたので、お正月も実家に帰らず研究室にいました。(ノ)

計画的にできたのにはきっかけがあって、M2の9月中旬くらいに出席した学会でお会いした先生に、今の修論の構成を話したら、実験内容の提案を具体的にしてくださいました。「あ、こういう実験が入られるのか」と。これがターニングポイントになってそこから一気に進みました。それまでは正直そんなに計画的ではなかったかもしれませんが、むしろちょっと遅れ気味だったかもしれない。9月の時点では、今思えばまだテーマが大きかったのですが、先生からの提案をいただいたおかげで、どの実験をするか決まり、そのことで主張をどこまで絞るか決まり、全体の構成がカチッとまりました。運が良かったと言えますね。

一書いていて一番苦労したことは？

実験の分析のために必要だった統計の勉強です。先ほど言ったように、10月から勉強始めて、実際に使えるようになったのは約1か月後でした。M1の時に少しかじっていたのでイメージはついていたのですが、それでもほぼ知識ゼロからだったので本当に大変でした。研究室にあった本を読んだり、あとひたすらインターネットで検索して勉強しました。それから、先行研究を読むことについても、楽しくできたけど苦労しました。読むことより手を動かす方が好きなので(笑)。

一書き終わった今の感想と、アドバイスがあれば聞かせてください

実証研究でまとめることができたことは良かったと思います。言語学分野は理論論文が多く、実証はマイナーなのですが、個人的には実証を踏まえた研究をしたいと考えていましたから、自分の思うような形の論文が書けてよかったと思っています。

アドバイスとしては、研究分野のやり方（フォーマット）に従うことです。でないと後で苦労します。指導教員に論文作成時のフォーマットは事前に聞いておくといいいのではないのでしょうか。あと、論文に使う引用は文献管理ツールなどでまとめたほうがいいと思います。(参考：LaTeXを使った引用の管理 <http://www.f.waseda.jp/otoguro/latex.html>)

一論文を書く上で、まず何が大事だと思いますか？

主張が一つしっかりあることです。

M1からやりたいことを絞ることは大事です。だから最初の内は幅広く勉強し、そこからやりたいことを選択してどんどん絞っていきました。「やりたいこと」というのはとてもあいまいな表現ですが、厳密にいうと、常に一つの主張を持つておくことが大事です。主張を考えるということがやりたいことを決めるという意味とかなり近いと思います。そして主張を見つけるためには問いを見つけなくてははいけません。「何故？」という問いは日常にたくさん転がっていますが、思いつかなかつたら関連する本を読んでみると良いと思います。でも、たとえば、漠然と(ノ)

一イメージ通りの修論が書けましたか？

自分の力量、枚数制限、かけられる時間を考えるとまあこんなものというか、予定通りの出来ではあります。でも理想の論文ではなかったかなと。もっといい論文にしたい、もっといい論文を書きたい、という思いはあります。

一書いていて一番苦労したことは？

論文を書くこと自体が大変でした。私は読んでから考えるタイプなので、テーマ決めが難しかったです。シェリング研究、特に『ブルーノ』についての研究はあまり盛んではありません。「重要ではないから研究されなかったんでしょう？」というのが当然の疑問だと思います。それに対して、**私にはおもしろそうだったから研究したい、では答えになりません**。自分の興味だけでやれるものではないのが研究。自分のやっていることが、先行研究の中でどういう価値を持つか、どういう位置を占めるかが、自分の研究するテーマを決める上では重要です。実際に試問でも研究会でも飲み会でも(笑)なんでこういうテーマをやっているのがよく聞かれます。とはいえ、やりたいようにやるほうがいってという人もいますけどね。

一論文提出後の試問について聞かせてください

雰囲気は和やかではないです(笑)。質問内容は普通に厳しかったです。人格否定みたいな意地悪なものはありませんが、自分で弱いと思っていたことはもちろん、思ってもみないところさくさく指摘いただきましたが、褒めていただいたところもあります。論の構成が上手にできているおかげで読みやすいと言ってくれました。良かったです。

指摘された時に注意しないといけないことは、**試問は「試験」**だということ。だから「すみません」と謝るだけではだめなんです。例えばタイトルがおかしいと言われても、「多少乖離しているかもしれないけれど、これはこういう意図でタイトルをつけ、こういった論文を書きました」と回答しないといけない。**自分の意見をちゃんと言っているか、書こうと思っていることが書けているかを先生方は見えています**。それから、先生方が特に注目しているのは、この研究が今後展開するかどうかということ。この研究が後の博士論文に発展しうるテーマになるのかということなんですよ。

一書き終わった今の感想を聞かせてください

良し悪しですけど、先行研究の少ない分野なので、自分で開拓するやりがいがありました。そのかわり、研究している人が少ないから「この人はこう言っている」という比較ができない難しさもあります。

反省点としては、より広い哲学史の背景を踏まえ、取り扱って(ノ)

本を読み続けて吸収するだけだと、M2の夏ごろになって、さあ主張は何にしよう、となってしまうと間に合わなくなります。主張を見つけた後、その主張が言えるかどうかのエビデンスを見つけないといけない。まず自分で、何故それが言えるのか考えなければいけない。ある文献で言われているとか、実験で言われているとか、いろんな形がありますが、とにかく、裏付ける証拠が必要になります。この積み重ねでパラグラフが構成されていくので、証拠を見つける作業を複数しないと論文が書けないこととなります。

ひたすら本を読むという人もいますが、僕に関しては違いました。基本文献を読むのは、問い探しのためでありその分野での基本知識をいれておくためなので、その分野のものを2-3冊読んでしまえば、あとは**自分の頭で考えて必要な文献を探すことが重要**だと思います。主張は、既に存在している主張にプラスして発展させることも可能です。自分以外で既に誰かが同じことを言っていて「あーじゃあこれはできない」なんてことはありません。そもそも、一つの研究分野と言うのは一つのプロジェクトのようなものですからね。

一論文を書くときに気を付けることはありますか？

論旨が流れないようにすること。論旨がずれてくることはよくあることだと思います。結構流されるんですよ。主張に直接寄与しているもの以外は入れないようにして、ダイレクトに関わるもののみをピックアップするように努めることです。そのためには、論文1本にいろいろ詰め込もうとしないことがポイントですね。1論文 1 主張を意識することが大事です。

一ざばり、研究とは何でしょう？

学問というのがそもそも「問う」と言うことですよ。だから、「**何故と問うたこと、それを形にすること**」または「**何故に対する答えをみんなで作りに上げること**」だと思います。

一ありがとうございました



いる問題の重要性がもっとわかるように記述を心がけるべきだったということ。でも、内容が薄まる場合もあり、なんでもかんでも入れるわけにもいけないので、ジレンマがありますね。

一論文を書く上でまず何が大事だと思いますか？

熱意！！「このことを考えているのは今の瞬間世界で自分が初めてではないか」という錯覚かもしれない知的興奮が論文を支えています。とはいえ、やっぱり書いてると疲れてくるので、モチベーションをどう維持するかも大事ですね。書くことが嫌になったり、「論文を書いたところで誰が読むんだ？」「こんなこと誰か既に言ってるだろう」などという、後ろ向きな気持ちとの戦いです。そんな時は散歩に行ったり、銭湯に行ったりしていました。

一論文を書く上で気を付けたことはありますか？

剽窃だけはしてはいけません。これが一番重要です。そもそも学問をする上で、「人のものを自分のものとして書く」という研究態度自体が問題ですよ。論文を書くための説明会でも、クレジット問題は大変厳しいので気を付けましようと言われました。

とはいえ、故意でない間違いもありますから、必ず、どこから出典があったかをいつも明確にしておくことが大事です。論文の書き方についての書籍を読むのも良いかもしれません。それから、哲学の論文は文章が難しくなりがちなので、わかりやすい文章になるように気を配りました。成果のほどはちょっと不明ですが(笑)。

一ざばり、研究とは何でしょう？

今一番したいことであり、すべきことである、ってことですかね。私にとってはこれからもずっとしていきたいことだし、わからないことがわかるようになりたいですね。

自分が「知りたい、わかりたい」という気持ちをベースにしつつ、研究としてどういった論文を書くべきかということはこれからも考えていきたいです。

一ありがとうございました



いかがでしたか？7月から開催の「卒論・修論執筆応援キャンペーン」では、先輩たちがどのように論文を執筆したかをまとめた「**先輩の体験談**」もありますので、そちらもぜひ手に取って見てくださいね！

開館日程表

YOSHIDA
SOUTH
LIBRARY

00 9:00-20:00

00 10:00-15:00

00 休館(日・祝日)

00 28日 定例休館日

7月

- 7日(火)
グレート・ブックス読書会
『『純粹理性批判』はグレートブックか?』
- 6日(月) ~10日(金)
ILL15分講習会
- 13日(月)~17日(金)
文献整理15分講習会
- 28日(火)
試験期間のため28日(定例休館日)も開館します。

8月

- 夏季休館 9日(日)~20日(木)
「環on(わおん)」も休室します。



環on
Library わおん

「環on(わおん)」(人環棟1F)

開室: 平日9:00-17:00

本館の定例休館日も開室

休室: 土日祝日ほか

(本館の休館日と同じ)

7 23日~: 夏季特別貸出

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8 8月9日-20日: 夏季休館

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9 19日: 夏季特別貸出最終日
(教職員・院生は7日)

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			